

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

令和8年5月
防衛省

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

【訓練の実施場所及び期間】

➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

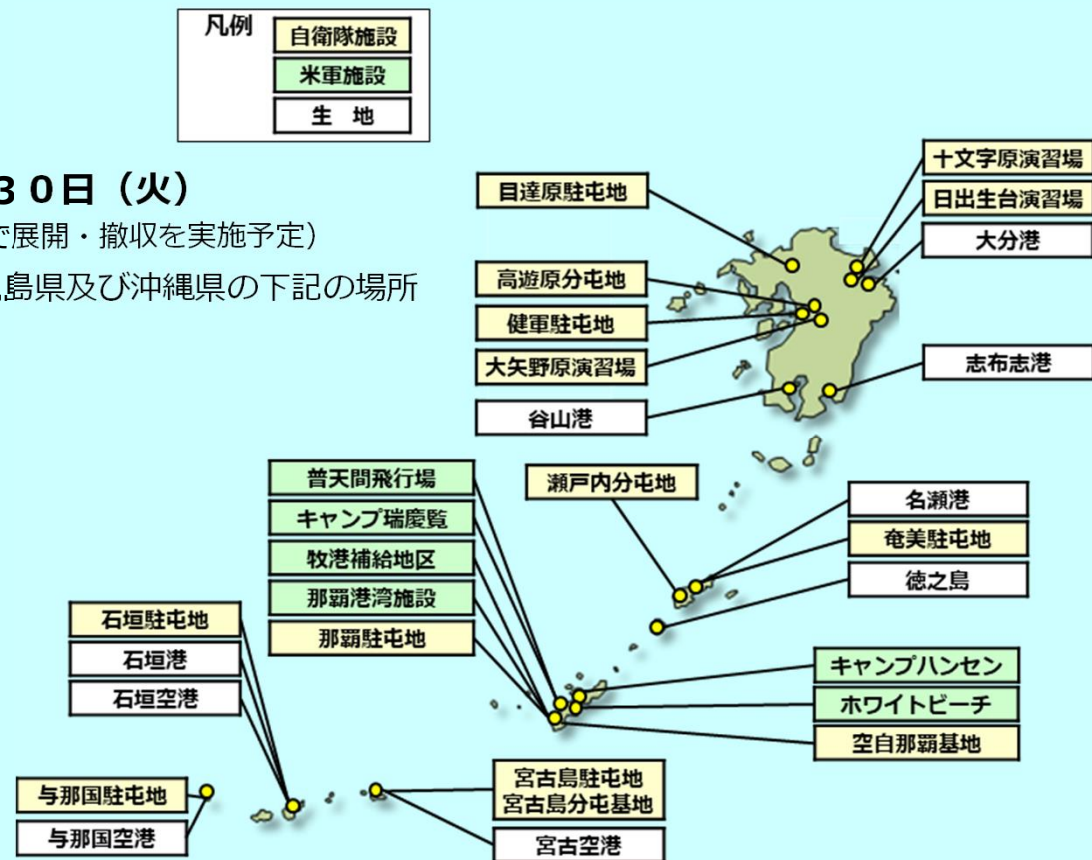
- ・大分県：陸上自衛隊日出生台演習場、
陸上自衛隊十文字原演習場、
大分港

- ・佐賀県：陸上自衛隊目達原駐屯地

- ・熊本県：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場

- ・鹿児島県：志布志港、谷山港、
陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島

- ・沖縄県：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

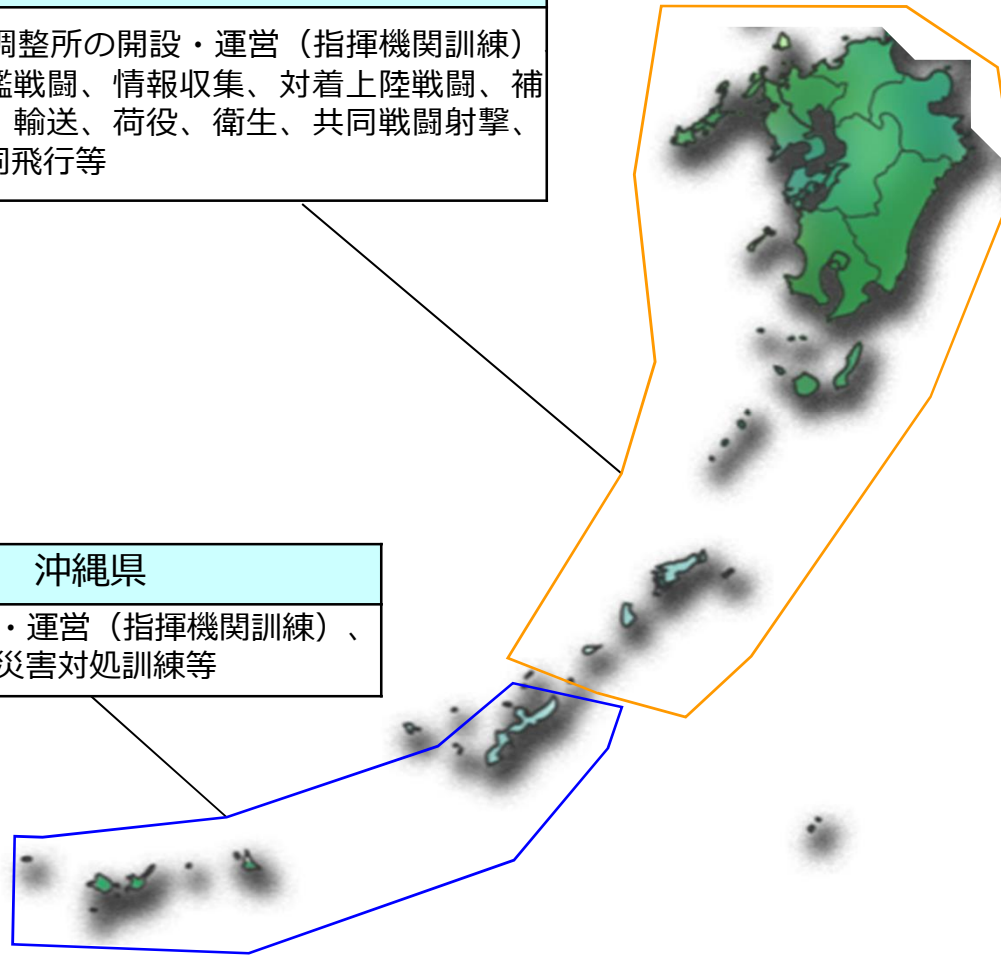
九州

（大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県）

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

沖縄県

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、
災害対処訓練等



沖縄県

那覇駐屯地及び空自那覇基地の使用について

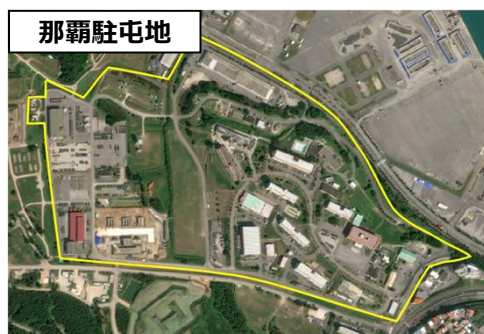
那覇駐屯地においては、災害対処訓練における日米共同の調整所の運営訓練を実施する計画です。
空自那覇基地においては、自衛隊機の航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年6月24日（水）～30日（火）※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊等】 （那覇駐屯地） 自衛隊：陸上自衛隊 約20名（第15旅団等）
米 軍：米海兵隊 約10名（第3海兵兵站群等）
（空自那覇基地） 自衛隊：陸上自衛隊、航空自衛隊 約15名（第15旅団、第1ヘリコプター団等、CH-47×2機程度、V-22×3機程度、C-130H×2機程度（支援）等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



日米共同調整所の運営



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備

キャンプ・ハンセンの使用について

沖縄県

キャンプ・ハンセンにおいては、訓練終了式を実施する計画です。

- 【期 間】 令和8年6月30日（火） ※ 前日の6月29日（月）に準備等実施予定
【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約60名（西部方面総監部、第15旅団及び第2特科団等、12式地対艦誘導弾等）
米 軍：米海兵隊 約60名（第3海兵機動展開部隊等、NMESIS×1程度、MADIS×1程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

キャンプ・ハンセン



訓練イメージ



訓練終了式



12式地対艦誘導弾



米NMESIS



米MADIS

沖縄県

牧港補給地区の使用について

牧港補給地区においては、日米の共同調整所を開設した指揮機関訓練を実施する計画です。
また、陸上自衛隊の訓練部隊が宿泊、入浴等の管理基盤として使用する計画です。

【期 間】 令和8年6月20日（土）～30日（火） ※ 建物内の訓練のみ実施

※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約50名（西部方面総監部、西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊等）

米 軍：米海兵隊 約40名（第3海兵兵站群、第37戦闘兵站連隊）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

牧港補給地区



訓練イメージ



指揮機関訓練

キャンプ瑞慶覧の使用について

沖縄県

キャンプ瑞慶覧においては、日米の共同調整所を開設した指揮機関訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年6月29日（月）～30日（火） ※ 建物内の訓練のみ実施

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約15名（第15旅団等）
米 軍：米海兵隊 約15名（海兵隊太平洋基地司令部等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



指揮機関訓練

ホワイトビーチの使用について

沖縄県

ホワイトビーチにおいては、先島で実施する災害対処訓練における物資輸送訓練の準備のため、日米共同によるLCU（揚陸艇）への物資の積載・卸下を実施する計画です。

【期 間】 令和8年6月22日（月）～30日（火） ※慰霊の日（6月23日）は建物内の訓練のみ実施

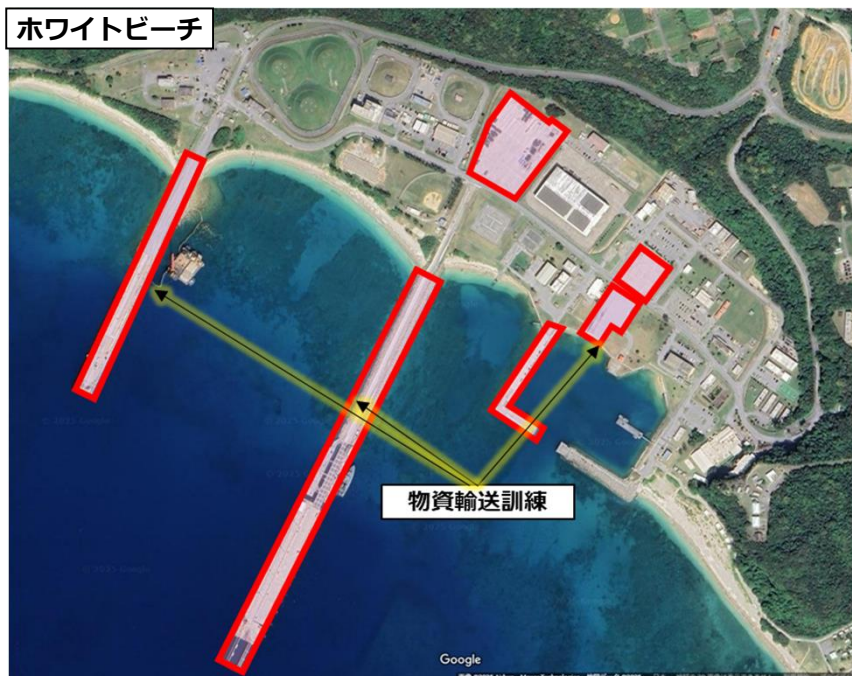
※ 物資積載・卸下時のみ使用

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約10名（第15旅団等）

米 軍：米海兵隊、米陸軍、米海軍 約20名（第7艦隊、第3海兵兵站群、第9工兵支援大隊等、LCU（揚陸艇）×1隻程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



物資輸送訓練



米LCU（揚陸艇）

普天間飛行場の使用について

沖縄県

普天間飛行場においては、災害対処訓練における日米共同による米C-130を使用した物資輸送訓練及び米海兵隊航空機及び陸自航空機の航空基盤等として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。この際、航空機騒音規制措置を遵守し、深夜・早朝の時間帯や日曜日は離発着を行いません。

【期 間】 令和8年6月24日（水）～30日（火）※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 米 軍：自衛隊：陸上自衛隊 約25名（第1ヘリコプター団、V-22×3機程度等）
米海兵隊 約20名（第1海兵航空団、C-130×1機程度、CH-53×3機程度）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所

普天間飛行場



場所詳細計画中

訓練イメージ



物資輸送訓練



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備

那覇港湾施設の使用について

沖縄県

那覇港湾施設においては、先島で実施する災害対処訓練における物資輸送訓練の準備のため、日米共同によるLCU（揚陸艇）への物資の積載・卸下を実施する計画です。

また、九州で実施する物資輸送訓練に参加するALPV（半潜水型無人艇）への物資の積載・卸下を実施する計画です。

【期 間】 令和8年6月22日（月）～30日（火）※ 慰霊の日（6月23日）は建物内の訓練のみ実施

※ 物資積載・卸下時のみ使用

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約10名（第15旅団等）

米 軍：米海兵隊、米陸軍、米海軍 約15名（第7艦隊、第3海兵兵站群、第9工兵支援大隊等、ALPV（半潜水型無人艇）×1隻程度、LCU（揚陸艇）×1隻程度 等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



物資輸送訓練



米LCU（揚陸艇）



米ALPV（半潜水型無人艇）

宮古島の使用について

沖縄県

宮古島においては、日米共同による災害対処訓練として、日米の共同調整所の運営訓練、共同衛生訓練（駐屯地内における患者の治療及び日米航空機による患者後送（宮古空港及び宮古島分屯基地から普天間基地））及び航空機による物資補給・輸送訓練を実施する計画です。

訓練に参加する自衛隊及び米軍の人員や装備品等を自衛隊の航空機により輸送するため、宮古空港の使用を計画しています。

また、日側航空機の離発着のために宮古空港及び宮古島分屯基地の使用を、米側航空機の離発着のために宮古島分屯基地の使用を計画しています。

なお、宮古空港から宮古島駐屯地の車両移動に際しては朝夕の通勤等で交通量が多い時間帯は避け、数回に分ける又は夜間・早朝に実施する等交通への影響が最小限となるよう実施します。

【期 間】 令和8年6月25日（木）～29日（月）

※ 本期間の前後に、それぞれ約3日間程度で展開・撤収を実施予定（慰霊の日（6月23日）を除く。）

【参加部隊等】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第15旅団、宮古島駐屯地業務隊等、V-22×1機、CH-47×1機程度、C-130H×1機（支援）等）

米 軍：米海兵隊 約40名（第3衛生大隊等、CH-53×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



日米共同調整所の運営



陸自V-22による患者後送等



日米共同衛生訓練



米CH-53による患者後送等

石垣島の使用について

沖縄県

石垣島においては、日米共同による災害対処訓練として、日米の共同調整所の運営訓練、日米共同の浄水（給水）訓練、航空機による共同物資補給・輸送訓練を実施する計画です。

訓練に参加する自衛隊及び米軍の人員や装備品等を日米の航空機及び米軍の船舶（LCU）により輸送するため、石垣空港及び石垣港の使用を計画しています。

また、日米航空機の離発着のために石垣空港を計画しています。

なお、石垣空港又は石垣港から石垣駐屯地の車両移動に際しては朝夕の通勤等で交通量が多い時間帯は避け、数回に分ける又は夜間・早朝に実施する等交通への影響が最小限となるよう実施します。

【期 間】 令和8年6月25日（木）～29日（月）

※ 本期間の前後に、それぞれ約3日間程度で展開・撤収を実施予定（慰霊の日（6月23日）を除く。）

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第15旅団、石垣駐屯地業務隊等、CH-47×1機程度、V-22×1機程度等）

米 軍：米海兵隊、米陸軍 約20名（第3海兵兵站群、LCU（揚陸艇）×1隻程度、C-130×1機程度、CH-53×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



浄水（給水）訓練



陸自V-22による物資輸送等



米LCUによる輸送（訓練準備）

与那国島の使用について

沖縄県

与那国島においては、日米共同による災害対処訓練として、日米の共同調整所の運営訓練、共同衛生訓練（駐屯地内における患者の治療及び米航空機による患者後送（与那国駐屯地から普天間基地））、日米共同の浄水（給水）訓練、航空機による共同物資補給・輸送訓練を実施する計画です。

訓練に参加する自衛隊及び米軍の人員や装備品等を自衛隊の航空機により輸送するため、与那国空港の使用を計画しています。

また、日側航空機の離発着のために与那国空港及び与那国駐屯地の使用を、米側航空機の離発着のために与那国屯基地の使用を計画しています。

なお、与那国空港から与那国駐屯地の車両移動に際しては朝夕の通勤等で交通量が多い時間帯は避け、数回に分ける又は夜間・早朝に実施する等交通への影響が最小限となるよう実施します。

【期 間】 令和8年6月25日（木）～29日（月）

※ 本期間の前後に、それぞれ約3日間程度で展開・撤収を実施予定（慰霊の日（6月23日）を除く。）

【参加部隊等】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第15旅団、与那国駐屯地業務隊等、CH-47×1機、C-130H×1機程度（支援）等）

米 軍：米海兵隊 約20名（第3衛生大隊等、CH-53×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



日米共同調整所の運営



日米共同衛生訓練



浄水（給水）訓練



米CH-53による物資輸送等